

令和2年度 1学期 始業式 講話

令和2年6月1日

【節目】

みなさん、ご入学、進級おめでとうございます。東三国小学校からきました、校長の原雅史です。皆さんと楽しく勉強していきたいと思いますのでよろしくお願ひします。

さて新型コロナウィルスのため学校を始めるのがずいぶん遅くなってしましました。

しかし皆さんがおうちでがんばってくれたおかげでこうやって学校を始めることができました。ありがとうございます。

お外に出られなくて辛かった時もあったでしょう。お友達と会えなくてつまんないと思っていた時もあったでしょう。でも皆さんの我慢のおかげで、こうやって学校を始めることができました。深く感謝しています。ありがとうございます。

でもまだコロナウィルスがなくなったわけではありません。今でも外国の国では1日に何万人と言う人がコロナウィルスにかかりています。担任の先生の話をよく聞いて、手洗い換気をしっかりとし、コロナウィルスにかかるないようにしていきましょう

さて、今日は始業式。2年生だった人は3年生に、3年生だった人は4年生に、大きく階段を1段上がるようなこんな日を「節目の日」と言いますが、この節目は、もともと何の言葉かわから

りますか？

答えは竹です。（青竹をみせる）

竹の節目からきている言葉です。これがそれです。（竹を見せる）

この筋みたいのが「節目」です。なぜ節目がなぜあるのでしょうか。

① 中身がないと、ストローみたいにすぐに折れてしまうから。節目のおかげで、強いけど、しなやかになっています。

こちらに竹より太い木の枝を持ってきました。でも木には節目がありませんから、このように簡単に折れてしまします。節目ってとても大切なことです。

② また竹は、真ん中ではなく、節目の下から伸びます。この節目がないと、竹はまったく成長できません。

では実際に竹の節目をみてみましょう。このように竹を切ると、中をみることができます。竹の中はどうなっていますか？

2年生～6年生のみなさんは、学年があがり、担任の先生が替わり嫌だなーと思う人もいるかもしれません、今日のような節目の日があるからこそ、人間は強くなり、成長できるのです。

みなさんも、この竹のように、節目を大切にしながらまっすぐ成長し、どんな困難にも、つよく、そしてしなやかに、生きていける人になってください。

これで校長先生の話を終わります。